

落合益夫君

山崎勲君

丸山誠一君 直ちゃんの卓話楽しみにしておりました。

斎藤正君 木本さんに協力して。

ロータリー財団：

山口龍二君 ポールハリスフェロー

樋口金占君 協力して。

山本賢君 研究グループ交換選考に私共の職員、佐藤が参加させて頂きましてありがとうございました。おかげ様で補欠との連絡でありました。皆様の友情に感謝致します。

阿部誠一郎君 トナリに委員長、副委員長やさしい顔に、今日は早退しますので。

木宮隆君 平松先輩に協力して。

鈴木英友君 皆様のご協力に感謝して、又今後の絶大なるご協力をお願いいたします。

米山奨学：

梨本清一君 中條さん、高橋さん、ご無事でお帰り、国際奉仕のご活躍、ご苦労さまです。

長谷川恵慈君 今日は8月最後の日です。

石月雅司君 吉田春雄さんにさがまれましたので。

卓 話： 「夏にふさわしくない涼しいお話し」 馬場直次郎さん



夏休みも今日が最後という日、景気の底冷え、そして冷夏を象徴するようなお話を致します。

人間オギャーと生まれた時から、眼を落すまでの間、それぞれのいろいろな人生模様を描きながら生きていく訳ですが、その人生の中で私も含め、皆さんの両の肩の上には、お二人のエンマ様がチョココンと腰掛けてこられ、私達の一生を見つづけておられ、善い行ない、悪い行ないについて細かく観察そして記録されていることを、皆さんご存じでしょうか。どんな善人と言われている人も、細かくいろいろな

事を洗い出してゆけば完全無欠の人はいないはずで。又どんな極意非道の悪人でさえ、生まれてきたときから悪人として生まれてくる人はおりません。全て等しく神の子、仏の子として生まれてきたはずで。

育っていく間の環境が、後日の人格型成に果す重要なポイントとなっていくものだと確信しております。「三つ児の魂百まで」という諺どおりだと思います。

そんな訳で、エンマの庁から派遣された二人のエンマ様が生まれた時から一生を終えるまで、ずっと見つづけておられることを、夢々お忘れなきように。一人のエンマ様は検察官としての役目を

仰せつかり、他方もう一人のエンマ様は弁護士としての役目を果たしておられるのです。

さあ皆さん、これからでも遅くはないのです。どこやらノーベル賞を欲しがっておられる人が、テレビのコマーシャルで唱えておった「一日一善」を目ざして頑張りましょう。

さて、人が一生を終えたとまず、どこへ行くと思いますか？ 家でウロチョロしているのは、ほんのチョイとだけ、すぐにでもアノ世、そうです彼岸へと旅立ちをしなければなりません。

特急「アノ世号」です。途中乗り換えが必要です。暗闇の中に横たう大きな河の前で船に乗り換えます。その河の端にはエンマの庁から派遣されているババアが住んでおりまして、到着する奴らから金をすっかり巻き揚げてしまうのです。そいつを渡さなければ迎えに来ている船に乗せてくれない訳です。いわゆる「地獄の沙汰も金次第」はこのあたりから生まれてきたのでしょうか？ おまけに強欲なババアは着ているもの全部を取り上げてしまいます。スッポンポンにされた人々はしぶしぶ迎えの船に乗り込みます。快速船はアッと言う間もなく彼岸へと到着です。その河は皆様ご存知「三途の川」なのですね。彼岸に着くとそこには恐ろしい顔をした赤鬼、青鬼達が出迎えに来ております。とぼとぼ歩いて行くと暗闇の向こうに明るく光る宮殿が見えてきます。それは決して日本の城のようなものではありません。それは中国風に出来ています。赤、青、緑の極彩色で彩られておるケバケバしい宮殿です。

門の中に入っていくといくつもの部屋があり、その奥まったところに大広間があります。幸い私は法廷には縁がなく、見たことはありませんが、テレビなんかの法廷シーンを思い出していただければいいのではないのでしょうか。正面には恐ろしい顔をしたエンマ大王、そして、その前には8名のエンマ様が居流れております。もちろん全てのエンマ様は中国風のコスチュームを身にまといております。

そして両脇にはつい先程まで一生を共に暮らした二人のエンマ様がそれぞれ検事席と弁護士席に分かれて着席しております。被告人席にすわられ、いよいよ裁判の始まりです。検事役のエンマ様が生涯の間、被告がどういう罪を犯したか、細大洩らさず暴露します。こいつはこういう悪いことをした、ああいうひどいことをしたと、鋭く追求します。

それに対して弁護役のエンマ様が、まあまあ、そう言われるがこういう善いこともしたことがあるんだヨと言って弁護をしてやります。それが7日間続きます。そうです、それが初七日にあたる訳です。地獄の法廷では2審制がとられています。その後エンエンと審理が続き49日目に結審、そして判決が下されます。それが49日と言われるゆえんです。エンマ大王が大きな声で判決を下します。地獄行きを宣告される人、又、極楽行きを宣告される人、さまざまです。

それに少し関連していますが、1～2年前、NHKで放映していたのですが、東大のある研究グループが都内の5才未満の幼稚園児を対象に聞きとり調査したところ、何と80%近くの園児がおどろくべき回答をしていたのです。

それは子供達の胎児体験についてなのです。80%のほとんどの子供達が生まれてくる前にお母さ